

咀嚼のためのひと工夫で、  
食べる楽しさ  
高齢者にやさしい介護食。

# 黒田留美子 高齢者ソフト食研究会

日常生活において、大切な生活リズムを支える「食事」。

高齢になると、加齢や障害等により、噛むことや飲み込むことが難しくなることで、誤嚥や窒息を起こしてしまうなど、食べることが困難になり、食事が味気ないものとなる傾向があります。

高齢になっても、「食べる喜びや楽しさ」を実感してもらいたい。

そんな思いから、摂食・嚥下機能が低下しても食べられる、安全で、おいしく、見た目も美しい食事として「高齢者ソフト食」が生まれました。

「高齢者ソフト食研究会」は、この「高齢者ソフト食」の普及啓発やさらなるメニューの開発等を推進する団体です。



## 黒田留美子

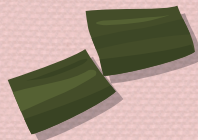
(くろだるみこ)

管理栄養士・農学博士。潤和リハビリテーション診療研究所客員研究員、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会評議員、高齢者ソフト食研究会会長。「黒田留美子式／高齢者ソフト食」を提唱。杉田玄白賞(2003年)・宮崎日日新聞賞社会賞(2006年)受賞。2010年宮崎大学大学院農学工学総合研究科終了。農学博士を取得。



～楽しく・美味しく・安全に～

食べることは「生きる喜び」です。



当研究会では、個人会員を募集しています。入会方法など詳しくは裏面をご覧ください。

